

414
A 4663



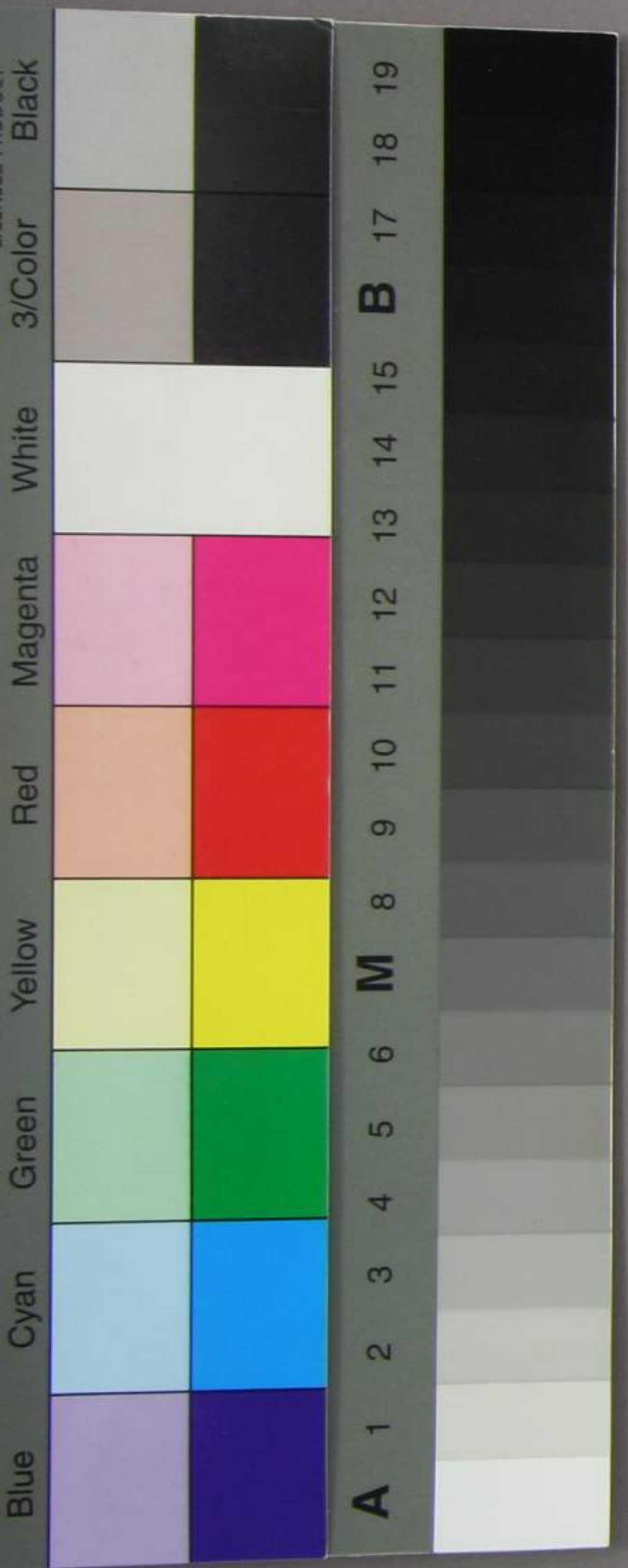
考書

本件ノ歴史

洪水大い等ノ
節ハ侍従ヲ被
害地ニ遣ハサレ
御慰問ノ上全
山下賜ノ恩典
アリ帝室ヲ藩
屏タル華族ガ
國家ノ為ニ困
難スル事故恩
典ヲ乞ヒ奉ル
モ未タ恩命ニ
接ヤス

吾々華族ハ公侯伯子男ノ五爵ヲ授ケラレ程ナリ公爵ノミ
ヘ三十六萬八千四ノ爵祿下賜アリ侯爵以下ヘモ順次下賜
アルト一同信シ居リ候處其模様更ニナリ憲法發布セラ
レ吾々侯爵ハ公爵ト共ニ世襲議員トナリ家ノ存スル限り
人ノ生存スル間ハ議員タラサルヘカラサル事トナリタレ
氏爵祿下賜ナキ上無歳費無祿費ニテハ到底出席出来サル
ノミナラス家産ノ維持モ大ケ敷ニ付何卒爵祿下賜相成度
旨再三再四歎願ノ結果第一議會ノ時タケ侯爵中在官者年
齡未滿者癡疾者ヲ除キ現ニ出席スヘキ醍醐廣幡菊亭嵯峨
ノ四人ヘ金千四ツ々下賜セラレ其後ハ爵祿ノ下賜モナク
亦千四ツ々ノ賜金モナシ此ニ至リ醍醐菊亭兩侯爵ハ賜金

大正十一年四月
侯爵郵寄贈



醍醐侯爵ハ
四條侯爵ヲ
介シテ宮内大臣
ヘセメテ人カ代弁
当料ダケニテモ
下賜相成度旨
内願シタルモ遂
ニ採用ナシ

及爵祿下付ナリテハ到底議院へ出席出来スト歎願シ置ナ
カラ依然出席セラレ居リ私儀ハ一たび無歳費ニテハ出席
出来ズト歎願シ千圓ノ賜金ヲ拜受シタル以上ハ賜金ナク
シテ出席スルハ之レ上ヲ詐ルナリ賜金ナクシテ出席スル
ヲ得ル程ナラハ出願セサルノ勝レルニ如カスト論シタル
トモ醍醐侯爵ノ如キハ腰弁当徒歩ノ不体裁ニテ出席シ同
族一般ノ迷惑ヲモ念頭ニ掛ケラレス之レ私ノ甚々遺憾ト
スル所ニテ爾未賜金ナキ為メ今日ニ至ル迄出席ノ機會ヲ
得ス病軀ナラサルニ病ト称シテ一周間毎ニ請暇セサルヲ
得ス之レ中根貴族院書記官長等ノ明カニ知ル處折角參政
ノ權ヲ得ナカラ困究ノ為メ議員ノ任ヲ尽ス能ハス國家ニ
報スルノ道ヲ失フ之レ本件歴史ノ大略ナリトス

侯爵旧堂上華族ニ爵祿下賜ノ必要ナル理由

一公侯爵ハ貴族院世襲議員トシテ共ニ歳費及旅費ノ支給
ナシ右ハ議院法第十九條ノ名文ニ由ルモノニシテ当初
立法者ノ眼中ニ貧富ノ區別ヲ置カサリシハ当然ノ事ナ
リトス然リト雖五爵華族中公爵ハ授爵後程ナク爵祿ト
シテ別紙ノ如ク一軒ヲ十萬圓ノ資産ト定メ七軒ハ三拾
六萬八千圓ノ賜金アリタリ侯爵以下ニハ今日ニ至ル迄
未タ爵祿下賜ノ恩命ヲ拜スルヲ得ス但シ伯子男爵ハ歳
費八百圓及旅費ノ支給アルヲ以テ議員タルノ任務ヲ尽
スヲ得又任務ヲ尽ス能ハサル場合アレハ議員ヲ辞スル
ノ自由ヲ與ヘラレタリ獨リ侯爵ハ歳費及旅費ノ支給ナ
ク又公爵ノ如ク爵祿ノ下賜ナキ故議員ノ任務ヲ尽ス能

ハス之ヲ辞セントスルモ世襲議負タルカ故ニ辞スルノ
道ナシ之我々侯爵カ宮内省ニ向テ爵祿下賜ヲ懇願スル
所以ナリ

二旧大名華族ノ侯爵ハ數十万若シクハ數百萬石ノ大祿ヲ
領セシヲ以テ侯爵ノ資格ヲ備フル事十分ナリト虽氏我
々旧堂上侯爵ハ元来世襲ノ秩祿寡少ニシテ家格ヲ維持
スルニ足ラサル事ハ別紙宮内大臣論達ニ由ルモ明瞭ナ
リトス然ルニ單ニ侯爵ナル名義ノ下ニ富裕ナル大名侯
爵ト同一ノ待遇同一ノ責任ヲ負担スルトハ到底為シ能
ハサル所之レ爵祿下賜ヲ請願スル所以ノニナリ

三宮中ノ御待遇其他共ニ公侯爵ハ殆ント同一ニ近シ即本
年二月以来大祭日毎ニ公侯爵ハ 賢所参列ヲ命セラレ

英照皇太后御大葬ノ節ハ参列ヲ命セラレ其他右ニ類ス
ル事多シ爵祿下賜アリタル公爵ト同様ノ待遇同様ノ責
任ハ到底負担シ能ハサル所之レ賜金請願ノ第三ナリト
ス

四議院法ニ依リ國庫ヨリ旅費歳費ノ支給ナク公爵ニハ爵
祿下賜セラレタリト虽氏侯爵ニハ宮内省ニ於テ爵祿下
賜セラレサル以上ハ一身ノ榮辱ヲ度外ニシ腰弁当徒歩
ノ醜態ニテ議院ニ出頭シ大禮服ヲ着シ泥靴ヲ穿テ 宮
中ニ 参内シ又諸儀式ニ参列スルモ已ヲ得サルナリト
ノ醜態侯爵ノ如キ論者アリテ既ニ実行セリト虽氏右等
ノ如キ極端ノ所業ハ帝國華族ノ体面ヲ損シ同族一般ノ
面ヲ汚辱シ同爵者ノ迷惑ヲ醸シ延テ帝室ノ御外聞ニ関

ス之レ賜金請願ノ第四ノ理由ナリトス

五列紙公侯爵所得稅表ノ如ク公爵ハ少モ皆百圓以上ノ納稅者ナリト虽氏侯爵ハ二三ノ在官者ヲ除ク外三四十圓ノ納稅者ハ上等ノ部ニシテ甚シキハ九圓三圓ノ家又全ク納稅者ニ非ラサル者アリ三圓ノ所得納稅者ハ年三百圓ノ收入ナリ今貴族院世襲議院ニシテ一年三百圓ノ所得ヨリナキ者又全ク所得ナリシテ僅ニ恩賜金(金九百圓)ノミニテ衣食スル者ノ如キ無歲費無旅費ニテ如何シテ議員ノ任務ヲ世襲尽スヲ得ンヤ如此困究者カ公事ノ爲ニ一層困難ヲ重スルヲ傍觀拋擲シテ救正ノ道ヲ立テサルハ難キヲ人ニ求ムルモノニシテ我仁慈ナル 帝室ノ爲ニ是トヤサル所之レ賜金請願ノ第五ノ理由ナリトス

六大婚滿廿七年御祝典ノ折列紙宮内大臣諭達ノ趣意ニテ恩賜金ノ事アリ尔来毎年六月十二月ノ兩度ニ子爵三百圓伯爵六百圓侯爵九百圓公爵千二百圓(公爵ノ金高ハ不明取調中)ノ賜金アリ故ニ侯爵者カ別ニ爵祿ノ請願ヲ爲スハ不當ナリトノ説アリ然レモ此ノ恩賜金ハ貴族院等政事上ノ事ニハ毫末關係ナキモノニシテ元来薄祿ノ結果家計維持ノ出来サル者ヲ御救助アルノ趣意ナルヲハ列紙諭達ニヨルモ明瞭ナル事實ナリ故ニ吾々侯爵者カ右恩賜金九百圓ヲ議員費用ノ爲ニ使用シ家計ノ維持ヲ怠リ華族ノ躰面ヲ汚辱スル如キ失行アリタラシニハ忽チ惠恤ハ停止ヤラレ議院ニ出席スル道ヲ失ヒ家計維持ノ方モ亦失ノヘシ諭達ノ趣意ヲ遵守スレハ此恩賜金ナルモノハ

他ノ道ニ流用スルヲ得ヘキモノニ非ス且又爵祿既ニ下賜アリタル公爵モ又吾々爵祿ノ下賜ナキ侯爵ト同様年々拜受ノ恩命アリ實ニ公爵ハ恩遇ニ重スルニ恩遇ヲ以テスト云フモ誣言ニ非ス元來論達文ニ徴スルモ此恩賜金ハ秩祿寡少ナル故ニ不足補充トシテ下賜セラルルモ故吾々侯爵ノ如キ元來薄祿ノ上ニ國家ノ公事ヲ永世負擔スル者ハ何卒公爵ノ例ニ倣ヒ爵祿ノ下賜ヲ希望スル所ニシテ恩賜金アリト虽片猶之ヲ請願スル第六ノ理由ナリトス

七 曩ニ華族保護ノ目的ヲ以テ世襲財産法ヲ定メラレ十五銀行郵船會社日本鐵道株ノ如キ政府ノ保護アル確實ノモノ殊ニ同族ノ多数ハ十五銀行株日本鐵道株ヲ世襲財

産トシテ依テ以テ衣食スルモノナルニ近來經濟上ノ變動ヨリ市價ニ大變動ヲ來シ十五銀行ノ如キモ日本鐵道株券ノ大下落ノ爲ニ數百萬圓ノ欠損ヲ生シ其株券ノ如キ非常ノ低落ヲ來シ賣ラントスルモ買フ者ナキニ至リ若シ商法ノ勵行ニ遭ハハ切閉店ノ不幸ヲ免レサルヘク又日本鐵道モ政府ハ分ノ利子保証アルニ當季配當ハ僅ニ五分五厘ニシテ從來ノ殆ント半額トナレリ如之其株券ハ從來百廿圓内外ノ價格ヲ保チシモノ俄然六十圓臺トナリ資産ノ過半ハ知ラサル間ニ雲散霧消セリ元來薄祿ナル上ニ無報酬ニテ永世議員タル重任ヲ負擔シ非常ノ困難ナルニ今又俄ニ資産ニ如此大變動ヲ生ス今ニシテ爵祿下賜アリテ此大危急ヲ救助セラルルニ非スンバ

幾多ノ名門名族ヲシテ空シク破産ノ不幸ニ遭遇セシメ
ントス之レ爵祿下賜ヲ乞フ第セノ理由ナリトス
八前内閣以来兩院議員歳費ヲ二三千圓ニ増加スルノ説アリ
假令実行ニ至ラサルモ議員ノ品位ヲ高尚ナラシメル
為ニハ現今八百圓ヲ不足トセラルルナラン若シ八百圓
ニシテ不足ナラハ各々困窮侯爵ノ無歳費無俸費ニテ到
底議員ノ任務ヲ尽ス能ハサルハ明瞭ナリ然レ氏各々ハ
歳費増加ノ実行ニ遇フモ其恩ニ浴スル以外ノ者ナリ之
レ爵祿ノ下賜ヲ切願スル第八ノ理由ナリトス

参考書

大正十一年四月
大隈侯爵郵寄贈

帝室費増加アリタキ理由

帝室ニ於カセラレテハ官様御繁昌各皇族ノ費用外國ノ
帝室トノ御交際侯爵ノ賜金宛民御惠恤等ノ御費用多端
タルヘク三百万圓位ノ帝室費ニテハ實際不足タルヘシ
因テ二百万圓ヲ増加シ五百万圓ノ帝室費トナス
帝室費増加ノ六利
一 帝室費ヲ増加セハ自然宮内省ノ同情ヲ得施政上便宜ヲ
得ルヲ大ナルヘキ
二 帝室費ヲ増加スルコトハ藩閥内閣モナシ能ハサル所之
ヲ断行セハ華族一般ノ同情ヲ得隨テ此一事タケニテモ
貴族院有爵議員ノ感情ヲ融和シ忠良ナル内閣ニ反對ス
ル辭ナリ自然現内閣ヲ謳歌スル

三帝室費増加ハ忠良ナル我國民一般ノ同情ヲ得ル
四藩閥内閣ノ為サケリシ帝室費増加ヲ断行セハ其功績ハ
永ク憲政黨ノ榮誉トシテ誇ルヲ得ル
五帝室費ヲ増加シテ華族中尤モ困難ノ地位ニアル侯爵へ
公爵ノ如ク爵祿ヲ下賜アル様現内閣ニテ尽カアラハ侯
爵議員ハ現内閣ヲ賛成スル

六帝室費ヲ増加シテ伯子男爵(公家武家共)ノ華族中旧祿高ノ
甚シク僅少ナル向ヘハ相当ノ爵祿下賜アル様現内閣ニ
テ御尽カアリ猶爵位ニ對スル不公平ヲ訂正相成様御尽
アラハ侯爵議員ト同シク靡然トシテ現内閣ヲ賛成者々
ルヘク此ノ如クニシテ貴衆兩院トモ其多数ハ現内閣ノ
政策ヲ賛助シ反對派ノ乘スル間隙ナクンバ永ク内閣ヲ

鞏固ニシテ其抱負ヲ實行スルヲ得ル

六窮策

侯爵十二軒ハ若シ一時ニ爵祿下賜相叶カタキ場合ニハ
何卒在官者ニテ貴族院へ出院出来サル者即徳大寺廣幡
中山ノ三侯爵及癡疾ニテ出席出来サル四條侯爵先年
齡末年ニテ議員ノ資格ナキ花山院大炊御門ノ三侯爵
合六侯爵家ヲ除キ現ニ出席スヘキ醍醐久我西園寺
菊亭中御門嵯峨ノ六侯爵へ第一議會ノ時ノ先例ノ如
差当リ爵祿下賜相成度事

備考明治廿三年第一議會ノ時ハ宮内省へ歎願ノ未
在官者ヲ除キ醍醐菊亭嵯峨廣幡ノ四侯爵へ金
千四ツ々下賜相成タリ

ニ帝室ノ御都合ニテ爵祿下賜相成兼候場合ニハ何卒
公事ノ為ニ困難スル事故國庫ヨリ何トカ名義ヲ付
シテ爵祿ニ代ルモノ例ハ八鑛山山林原野ノ類ニテ
爵祿ニ相当スル位ノ者ヲ大侯爵ヘ私下着クハ其他ノ
方法ニテ下賜相成度事

宮内大臣恩賜金ニ関スル謝達

舊堂上華族

公侯伯子爵

舊堂上華族ハ歷世皇室ニ奉仕シ御由緒尤深キ者ナル慶元
来世襲ノ秩祿寡少ニシテ其家格ニ相當セス為ニ家計窮困
シ往々華族ノ躰面ヲ維持スル能ハサル者アルニ至レル趣
叡聞ニ達シ深ク憫然ニ思食サレ曩ニ大暦二十五年ノ御祝
典ニ際シ内帑ノ金圓ヲ割キ保護資金ニ充テ宜シク惠恤
ノ方法ヲ立ツヘキ旨 御沙汰アラセラレタル次第ニ之
アリ 聖恩ノ優渥ナル實ニ此ノ如シ仍テ堂上華族タル
者感戴肝ニ銘シ勤儉躬行誓テ家道ヲ齊ヘ此恩典ヲ空
クセサランコトヲ心懸クヘシ若シ此恩典ニ浴シ苟モ家政
ヲ紊リ華族ノ躰面ヲ汚辱スル者アルトキハ時ニ臨ミ惠

恤ヲ停止セラルヘシ

宮内大臣子爵土方久元

公爵へ下賜アリタル爵禄金高

賜金四万千円	元高五万九千四余	公爵近衛篤磨
合 三万九千円	合 六万千四余	合 九條道孝
合 六万五千円	合 三万五千四余	合 二條基弘
合 七万千円	合 二万九千四余	合 一條實輝
合 七万九千円	合 二万千四余	合 鷹司熙通
合 三万五千円	合 六万五千四余	合 三條實美
合 三万八千円	合 六万二千四余	合 岩倉具定
賜金合計 参拾六萬八千円		

備考 元高ト称スルハ即旧禄券高ナリ又賜金ノ額ニ多
少アルハ公爵ノ資産ヲ拾萬円ト立テ元高ニ比較

シテ下賜シタルナリ故ニ元高ノルキ家ハ賜金多額ナリ

公侯爵所得税比較表

明治三十九年度税額

所得税金	二百三十四十二銭	公爵九條道孝
合	四百五十八十三四廿五銭	爵位局長
合	百四十四六拾四銭	東宮武官
合	百拾四一銭	合
合	百四拾二四拾八銭	合
合	二百廿三三四拾銭	學習院長
合	六百拾五三四拾貳銭	海軍大尉
所得税金	四拾八四七拾九銭	合
合	二百廿九四四拾貳銭	侍從長内大臣
合	百廿四四六拾八銭	合
		侯爵醍醐忠順
		合
		德大寺實則
		合
		久我通久

所得税金

納稅者ニ非ス

侯爵西園寺公望

六拾壹圓廿錢

豫備陸軍中將

今 四條隆謨

北海道在籍ニテ稅額不明

今 菊亭修季

納稅者ニ非ス

辯護士

今 中御門經明

廿三圓四錢

侍從騎兵大尉

今 廣幡忠朝

四拾七圓廿錢

今 嵯峨公勝

百四拾七圓七拾五錢

東宮大夫

今 中山孝磨

參可

今 大炊御門幾磨

九圓廿四錢

今 花山院親家

侯爵ノ資産ヲ八万圓ト假定シタル賜金ノ豫算

賜金六万五千五百圓 今 一万四千五百圓余 侯爵醍醐忠順

今 六万三千圓 今 一万七千圓余 德大寺實則

今 五万六千七百圓 今 二万三千三百圓余 今 久我通久

今 五万七千圓 今 二万三千圓余 今 西園寺公望

今 六万四千圓 今 一万六千圓余 今 四條隆謨

今 四万八千圓 今 三万二千圓余 今 菊亭修季

今 五万二千圓 今 二万八千圓余 今 中御門經明

今 五万九千二百圓 今 二万八千圓余 今 廣幡忠朝

今 五万六千百圓 今 二万三千九百圓 今 嵯峨公勝

今 四万〇四百圓 今 三万九千六百圓余 今 中山孝磨

今 六万八千圓 今 一万二千圓余 今 大炊御門幾磨

全 五万九千五百四 全 二万五百四 余 侯爵花山院親家
 賜金合計六拾九万三千四

表

侯爵ノ資産八万四トスレハ十二軒ニテ六拾九万三千四ノ賜金
 全 七万四トスレハ 五拾七万三千四ノ賜金
 全 六万四トスレハ 四拾五万三千四ノ賜金
 全 五万四トスレハ 三拾三万三千四ノ賜金

備考公爵ハ既ニ七軒ニテ三拾六萬八千四ノ賜金アリタ
 リ侯爵ノ資産ヲ五万四ト立ツレハ十二軒ニテ僅ニ三拾
 三萬三千四ニテ公爵七軒ノ賜金ヨリ猶三萬五千四ノ額
 ナリ

所得税金四万五千三百廿九

爵位局長

公爵岩倉具定

金 六万五千四百五十九

公爵三条公美

金 五万四千八百

學子習院長

公爵近衛篤磨

金 三万八千三百三十九

公爵九条道孝

金 百拾四。一

公爵二条基元

金 三万三千四百三十九

海軍大尉

公爵一条實輝

金 五万四千六百

東宮武官

公爵鷹司尚通

金 四万五千九百五十九

侯爵醍醐忠順

金 三万九千四百三十九

侍從長兼内大臣

侯爵德李實則

金 一萬四千六百八十九

侯爵久我通久

細族者ニ非ス

侯爵西園寺公望

同 金六拾二四廿六

豫備陸軍中將

侯爵四牟隆訶

同 北海道在籍故納稅高不明

侯爵菊亭修季

同 納稅者ニ非ス

侯爵中御門経明

同 金廿三四〇四界

侍從

侯爵廣幡忠朝

同 金四拾七四廿五界

東宮大丈

侯爵中山孝磨

同 金百七四七十五界

侯爵大炊御門義磨

同 金 三四

侯爵花山院親家

同 金 九四廿四界

賜金四万千四

元高五万九千九百四余

公爵近衛篤磨

賜金三万九千四

全 六万七千七拾四余

全 九條道孝

賜金六万五千四

全 三万五千四

全 二條基弘

賜金七万千四

全 二万九千百廿五余

全 一條實輝

賜金七万九千四

全 二万千四余

全 鷹司恊通

賜金三万五千四

全 六万五千四

全 三條實美

賜金三万八千四

全 六万二千四余

全 岩倉具定

賜金合計金參拾六万八千四

備考

元高ト称スルハ元ノ祿券高ナリ賜金ノ高ニ多ク少ク

ルハ公爵家ノ資産ヲ拾万四ト見積リ元高ニ比

シテ差額ヲ下賜セラレタルナリ即元高ノ僅少ナル

家ハ却テ賜金ノ高多キ譯合ナリ

今日堂上華族侯爵ノ資産ヲ七万四ト假定シタル賜金ノ豫算

賜金	元高	侯爵
五万五千四百	一万四千五百四余	醍醐忠順
五万三千四百	一万七千四百余	徳大寺實則
四万七千七百	二万三千三百四余	久我通久
五万四千四百	一万六千四百余	西園寺公望
三万八千四百	三万二千四百余	四條隆謨
四万三千四百	二万八千四百余	菊亭修季
四万九千二百	二万八千四百余	中御門經明
四万五千四百	二万三千九百四余	廣幡忠朝
三万三百	三万九千六百四余	嵯峨公勝
五万八千四百	一万二千四百余	中山孝磨
四万九千五百	二万九千四百余	大炊御門幾磨
		花山院親家

賜金豫算合計金五十七萬三千四

若侯爵ノ資産ヲ五万四ト見積ルハ十二軒ヲ賜金

総計左ノ如シ

三拾三万三千四

侯爵ニ公爵ノ如ク爵祿下賜アリタキ理由

一公侯爵ハ其貴族院世襲職員トシテ其家ノマラシ限り人生
存スル間出席セサル可ラス然ルニ公爵ハ既ニ爵祿ノ賜金ア
タハ無歳費無旅費ヲ通常議會ハ勿論廣島ニ於テ
如キ遠方ノ臨時議會ト雖出席スルヲ得レトモ侯爵ニハ何故
カ今以テ爵祿ノ賜金ナキ故衣食住ニ逐ハレ到底出席ヲ得ス
賜金ノアリタル公爵ト歳費旅費ノ支給アル伯子男ノ間ニ在リ
テ甚モキ不幸ノ地位ニアル

ニ宮中ノ御待遇モ公侯爵大抵同様ニテ大祭日毎ニ

賢所ニ参列シ又ハ昨今ノ御大葬ノ如キ参列ヲ命セラレ京都
マテ出張スル事アリ爵祿ノ賜金アリタル者ト直モ賜金ナキ
者同様ニテ非常ニ困難ヲ感スル

三大婚満せしむる祝典ノ節四堂上華族公侯伯子爵へ別紙
ノ如キ主意ノ御達アリ自來六月十二月ノ西度ニ子爵
三百是日伯爵六百日侯爵九百日公爵千八百日不明ノ
賜金アレバ爵祿ノ賜金アリタル公爵歳費ノ支給
アル伯子ハ知ラス侯爵ニ於テハ家計ノ不足ヲ補充スル
ニ足ラサル位ニ到底無歳費ニテハ議院ニ出席スル得
サル一況ニテ諭達ノ文面ニヨリハ家計ヲ維持スル能ハ
ル者アル一ハ明瞭ナレハ向卒侯爵ニ相当ノ爵祿賜金
アリタキ一

四明治廿三年第四帝國議會ノ節我々共ノ願意御
採用アリ金千日下賜相成リタリ而メ爾來亦モ賜金
ナシ

五四大名華族ノ侯爵ハ同ニ侯爵ニテモ數十万石又ハ百
万石以上ノ旧祿故從テ今日モ十分侯爵ノ体面ヲ保テ
華族ノ地位ヲ全フスレバ四堂上侯爵ハ元來薄祿ノ上ニ
無歳費無旅費ニテ議院ニ出席ノ義務ヲ負担シ
到底自滅ノ外ナキノミナラス某侯爵ノ如ク腰弁當
徒歩ノ醜体ニテ登壇スル如キハ帝室ノ藩屏タル
華族一般ノ体面ヲ汚シ外人ニ對シテモ我帝國ノ面
目ヲ損シ延ヒシノ我帝室ノ御外聞ニ關スル一
六四堂上侯爵ハ元來秩祿寡分サニテ家格ニ相当セサル
事ハ官内大臣諭達ノ如ク明瞭ナル事實ナルニ猶其
上ニ議院無歳費出席ノ困難ヲ打棄置カレ候
ラハ難キヲ人々責ムル嫌アル一

歷世皇位王ニ奉仕ニ御由緒尤モ深キ所

旧堂上華族ハ元來世襲ノ秩祿寡少ニシテ其家
格ニ相当ス為ニ家計窶困ニ徃々華族ノ体面ヲ
維持スル能ハサル者アルニ至レル趣ニ嚴聞ニ違
シ深ク憫然ニ思ヒ召サレ曩ニ大崎滿世
ノ御祝典ニ際シ内帑ノ金匱ヲ割テ保護資
金ニ充テ宜シク惠恤ノ方法ヲ立ツヘキ旨御沙汰
被為在タル次第ニ有之聖恩ノ優渥ナル此ノ如シ
仍テ堂上華族タル者感戴肝ニ銘シ勤儉躬
行誓テ家道ヲ齊ヘ此聖恩ヲ空フセサランイシ
心掛クヘシ苟モ此聖恩ニ浴シ華族ノ体面ヲ汚辱ス
ル者ハ時ニ臨ミ惠恤ヲ停止セラルレ

宮内大臣

